行政視察報告書　　議会運営委員会　　　2017年7月13日(水)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　11番　石井通春

|  |  |
| --- | --- |
| 視察先 | 京都府長岡京市 |
| 研修テーマ（調査項目） | 議会改革、予算委員会、災害時の取組など |
| 1. 取組の内容評価   ・請願による議会基本条例の制定  ・議員政策研究会の設置（議員が主体的に政策等について調査研究を行う）全議員参加  ・上記研究会は全体会で研究テーマを決定し、分科会を設置し委員を選出する  ・予算審査常任委員会の設置（議長を除く全議員）  ・上記委員会で当初予算だけでなく補正予算も審議（年間を通じるので常任委員会化）  ・本会議後の付託は下記のとおり実施  （予算委員会の全体会で、①日程確認、分科会送付案件の決定＜10分くらいで終わる＞　分科会で②逐条審査、３常任委員会ごとの分科会＜およそ3日間かかる＞　小委員会で（補正予算はない）③会派代表による総括質疑、事前通告制度＜ほぼ1日かかる＞）  ・よって、最終日の本会議は討論採決のみで終わる  ・予算案に対する代表質問制度を取っていない   1. 今後の課題   ・予算委員会の審議が充実している。特に小委員会制度は分科会議論を踏まえての事前通告制度で実質ここでの議論が大きい  ・それを以て「本会議の形骸化」と問われても、「そういわれればそうかもしれないとしか感じない」と予算委員会の常任委員会制度にはいささかの疑問もない様子  ・むしろ総括質疑から本会議まで時間があるので、改めて会派間で再検討できるメリットもあるとの事   1. 本市に反映できると思われる点   ・野洲市と違いはあるが、予算委員会を全議員参加の常任委員会とすることには、何の問題もない。本市もその方向で前進を図るべき   1. その他 | |